

吉野作造記念館だより

第34号

2025年4月
2026年3月

寄贈資料紹介

鈴木林平旧蔵書軸2点

瀬戸勝枝氏寄贈

写真の書軸2点は、吉野作造の従兄弟（吉野の母・このの甥）である鈴木林平（1878～1947）旧蔵の資料です。寄贈者の瀬戸勝枝氏は、林平の孫にあたります。

写真右は、作家・画家6名による寄せ書きです。揮毫しているのは、松崎天民（1878～1934）、土師清二（1893～1977）、長谷川伸（1884～1963）、甲賀三郎（1893～1945）、

平山蘆江（1882～1953）の5名で、絵は日本画家の矢沢弦月（1886～1952）によるものです。「鈴木林平大人 鳴子巡遊記念」と書かれていることから、林平が彼らと一緒に鳴子方面を旅行した際の記念に書き贈られたものと思われます。日付は書かれていませんが、1933年（昭和8）8月に鳴子や仙台で開かれた『河北新報』『福島民報』共催の文芸座談会に、平

山、長谷川、土師、甲賀らが参加しており、この時のものと推察されます。「硫黄掘る人ありて黄な蝶々哉」（土師清二）、「青嵐鳴子川渡鬼首」（長谷川伸）など、鳴子温泉郷の情景が詠われています。

写真左は鈴木文治（1885～1946）による揮毫。「陸奥館主人」は林平のことです。林平は1927年（昭和2）ごろ、仙台市南町通に陸奥館という旅館を開業しました。1928年（昭和3）1月31日の「吉野作造日記」にも、第1回普通選挙で赤松克麿の応援演説のため仙台入りした吉野が泊まったという記述があります。吉野や鈴木文治、片山哲らが愛用しましたが、1945年（昭和20）の戦災で焼失しました。「苦」楽相磨練 練極成福」という言葉は『菜根譚』の一節で、「苦しみ、楽しみ、修行を重ね練磨してつくった幸福」の意です。

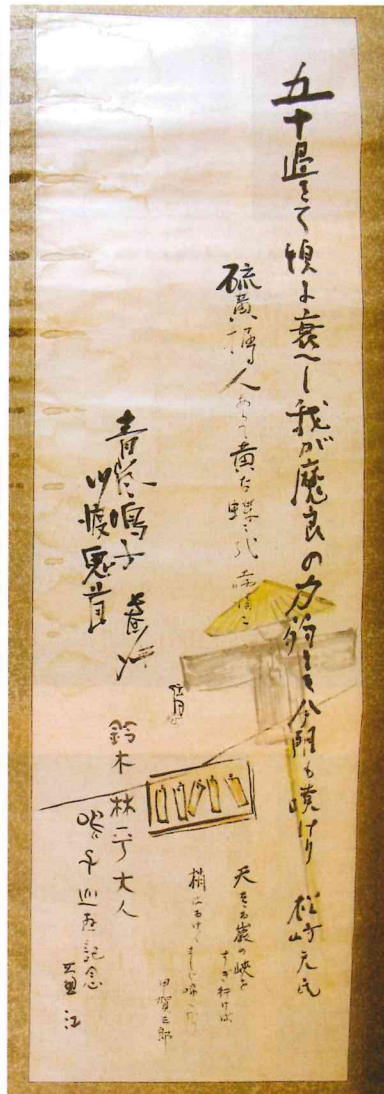
この他、主な新収蔵資料はP14でご紹介しています。

参考文献

- ・平山城児「平山蘆江年譜稿（その二）」（立教大学大学院日本文学論叢）13号、2013年10月
- ・せとかつえ「吉野作造とその母の実家」（西田耕三編『吉野作造と仙台』宮城地域史学協議会、1993年）



鈴木文治書
「一苦一楽相磨練 練極成福」



作家6名寄せ書き
（鳴子巡遊記念）

トピックス (2025年4月～9月)

5月3日

憲法記念日講演会

さまざまな角度から憲法について考える、憲法記念日の恒例行事です。今年度は、学習院大学専門職大学院法務研究科の尾形健教授をお招きし、「共に生きる社会のために―『法の下での平等』をめぐる憲法裁判から」と題して、日本国憲法14条に定められた「法の下での平等」がどのように意味づけられてきたかを、様々な判例を通してお話しいただきました。



9月25日

吉野作造記念館友の会 歴史探訪バスツアー

吉野作造記念館友の会会員向けの企画です。



原阿佐緒記念館 (大和町)



内ヶ崎作三郎記念館 (富谷市)



チャレンジday (6月11日・9月10日・11月12日)



講座「吉野作造の文章を読んでみよう」(4月～2月)
氏家館長による吉野作造の基礎講座。全10回。



ナイトミュージアム (8月2日)



古川中学校職場体験実習 (7月3日・4日)

トピックス (2025年10月～2026年3月)

11月29日

読売・吉野作造賞

受賞者講演会

今回は、『日ソ戦争』（中公新書、2024年）で第26回読売・吉野作造賞を受賞された成城大学の麻田雅文教授をお招きしました。「兵士から見た日ソ戦争・シベリア抑留―宮城・岩手を中心に―」というテーマで、第二次世界大戦末期の日ソ戦争の実態について、宮城県や岩手県出身の兵士や抑留者に焦点をあてながらお話しいただきました。



3月14日

一箱古本市

in吉野作造記念館

後期企画展の関連イベントとして開催。一箱古本市は、本専門のフリーマーケットです。出店者それぞれの得意分野を生かした個性豊かな一日だけの本屋さんになりました。



BOOK TURN SENDAIに出展（12月21日）のべ4000人が来場。



特別講演会「地域における多文化共生～日本の政策と各地の実践～」(11月23日)
講師：土田千愛氏（第9回吉野作造研究賞優秀賞）

一吉野作造記念館友の会のご案内一

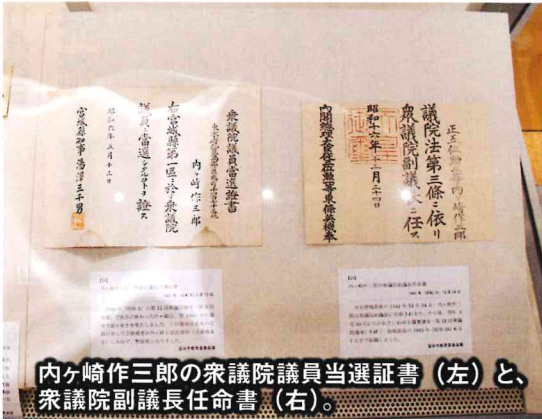
吉野作造記念館友の会は、記念館を通して会員同士の親睦を図りつつ、地域の芸術・文化・歴史を学ぶことを目的とする会です。展示観覧、講演会などへの参加が無料になるほか、会員限定のイベント・講座など、さまざまな特典があります。

詳しくは記念館までお問い合わせください。
年会費：4,000円（家族会員：2,000円）



歴史講座「“東北”とは何か(続)」(3月14日)
講師：後藤彰信氏（柴田町文化財保護委員）

企画展&関連イベント



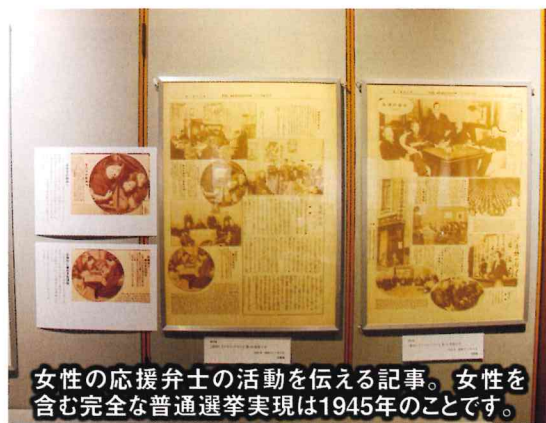
内ヶ崎作三郎の衆議院議員当選証書（左）と、衆議院副議長任命書（右）。



展示資料は計63点。大崎市の大半を含んだ旧宮城1区の候補者4名にスポットを当てました。



赤松克麿の選挙郵便物。推薦状には、吉野作造や与謝野晶子夫妻が名を連ねています。



女性の応援弁士の活動を伝える記事。女性を含む完全な普通選挙実現は1945年のことです。

7月27日～9月21日
前期企画展

大崎からみる普選元年

普通選挙法成立100周年記念



2025年（令和7）は、納税額による選挙権の制限が撤廃され、基本的に25歳以上の男子全員が選挙権を得た1925年（大正14）の衆議院議員選挙法改正（男子普通選挙法成立）からちょうど100年の年です。そして1928年（昭和3）2月20日に実施された第16回衆議院議員選挙は「第1回普通選挙（普選）」と呼ばれます。

本企画展は、日本の民主主義の根幹である普通選挙の始まりを、地域の歴史資料で振り返るものです。

当館所蔵の「橋平酒造店関係資料」中の第1回普選関係資料のほか、富谷市教育委員会所蔵の内ヶ崎作三郎関係資料、大崎市教育委員会所蔵の橋平文書など貴重な資料を展示しました。

また展示の最後では、当館が取



8月29日～31日に開催された2025年度の人材育成研修会は「普通選挙100年」をテーマに、中澤俊輔・秋田大学准教授、奈良岡聰智・京都大学教授、武藤秀太郎・新潟大学教授の3名による講義が行われ、20名の学生や6名の高校生と議論を交わしました。

り組むシティズンシップ教育事業を紹介。18歳選挙権の成立から10年の節目の年でもあり、民主主義とは何かを様々な角度から考える展示となりました。

第18回吉野ネットワーク 人材育成研修会

企画展&関連イベント

2月22日～4月19日
後期企画展

我が町おおさきの歴史・文化

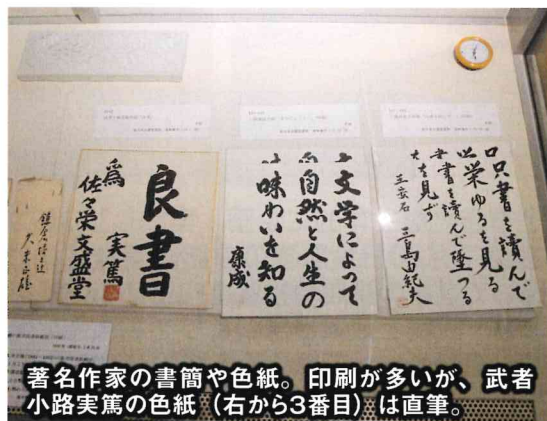
(第4回 町の本屋さん)



佐々栄文盛堂の屋号「丸久」が入った半纏。



二代目店主が出征した際の町民寄せ書き。



著名作家の書簡や色紙。印刷が多いが、武者小路実篤の色紙(右から3番目)は直筆。



企画展「我が町おおさきの歴史・文化」は、自分たちの歴史を自分たちで記録・継承していくことはデモクラシーの社会の基本であるという趣旨のもと、記念館学芸員と市民と一緒に調査研究や展示制作に取り組み、地域に残る歴史資料の保存と継承を目指す「市民が作る企画展」です。第4回目のテーマは「本屋」。かつて本屋は、単に本を売ることにとどまらない、地域の教育・文化の中心を担う存在でした。1901年(明治34)創業した古川の老舗書店・佐々栄文盛堂(後のブックセンターササエ)に伝わった資料をもとに「町の本屋さん」と共に大崎・古川の文化が育ってきた歴史を紹介しました。明治時代から平成時代にわたる佐々栄文盛堂の商売に関する資料の他、店主である



佐々木家の生活や趣味、戦争に関する資料なども展示しました。
佐々栄文盛堂資料の整理、展示資料の選定、展示設営作業など、企画展制作のほとんどすべての過程で吉野作造記念館市民学芸員の皆さまに協力を頂きました。また資料整理作業にあたっては、大崎市教育委員会、大崎市立古川第一小学校、大崎市民ギャラリー緒絶の館、宮城学院女子大学の学芸員実習生各位にもご理解・ご協力を頂きました。何より、資料の旧蔵者である佐々木栄之氏より同資料の保存・活用への深いご理解を賜り、このような形で、貴重な資料の公開が可能となりました。厚く御礼申し上げます。

NPO法人古川学人「3つの作造くつくる」

人づくり —主権者教育—

高校生デモクラシー塾

6月5日

主催…NPO法人古川学人
 参加校…大崎中央高等学校、古川高等学校
 古川学園高等学校、古川黎明高等学校



高校生が選挙啓発を主体的に企画・実践し18歳の投票率向上と主権者教育推進を目指す事業です。本年度は7月20日投開票の参議院選挙に向けて、大崎市内4校の生徒が4回のワークショップを通して選挙の課題や投票率向上について考え、様々な取り組みを行いました。社会課題に関する学習・議論と政策提言づくりをふまえた発表も行われ、高校生政策提言発表会につながっています。アンケートでは参加各校の有権者生徒の投票率は72.5%となり、全国平均と比較するとおよそ+14ポイントとなりました。

高校生政策提言発表会

2月1日

会場…吉野作造記念館研修室
 助言者…大崎市健康推進課、同環境保全課、
 同観光交流課、同まちづくり推進課、
 同教育委員会文化財課、同社会福祉協議会



高校生の政策提言の機会を設け、若い世代の政治参加を支援することを目指す事業です。今回は仙台第三高等学校、古川高等学校、古川黎明高等学校の3校10グループが発表しました。

NPO法人古川学人「3つの作造くつくる」 **未来づくり 一次世代育成**

第5回 おおさき作文コンクール

主催：NPO法人古川学人

大崎市内の小学5～6年生・中学生を対象とした作文コンクール。今回は「よりよい大崎をつくるために、わたしたちにできること」をテーマに、計12作品の応募を頂きました。

※宮城県共同募金会「みやぎチャレンジプロジェクト」助成事業



表彰式 (1月31日)



- 中学校の部 最優秀賞**
 「『地域の特性』を生かす大崎へ」 菊池海斗さん (古川東中3年)
- 優秀賞** 「みんなで作る大崎市」 斎藤由羅さん (鹿島台中3年)
- 小学校の部 最優秀賞・大正デモクラシー賞**
 「よりよい大崎をつくるためにわたしたちにできること」
 瀬戸煌葉さん (中新田小6年)

中学校の部 最優秀賞

「『地域の特性』を生かす大崎へ」

古川東中3年 菊池海斗さん

「よりよい大崎をつくるために、わたしたちにできること」として、私は「人と自然とが共生する大崎をこれからも守っていくこと」が大切だと考えます。

私は、大崎という地域は自然豊かな大変美しい場所だと思っています。大崎に生まれた私は、小さい頃から四季を通じて祖父の農業の手伝いをしてきました。今年も、春はタラの芽などの山菜採りやたけのこ掘り、夏はナスやジャガイモの収穫、秋はさつまいも掘りや新米の精米、冬は大根やキャベツ、白菜の収穫などをしました。その合間には、居久根で友達と一緒にカブトムシやクワガタムシを捕まえたり、栗拾いやキノコ採りをしたりもしました。船形山を見ながら、庭で家族みんなで収穫した野菜のバーベキューや焼き芋をしたことも、とても楽しい思い出です。

このような、何気ない私の日常生活や、いつも見ている奥羽山脈のふもとから広がる田園風景を支えているものは、実は大崎地域の人たちが長年努力し培ってきた知恵や伝統、歴史や文化、地域社会の結びつきなどであることを、私は「世界農業遺産」について調べたときに知りました。

大崎耕土が世界農業遺産に認定された理由は、「伝統的な水管理」「持続可能な水田農業」といった、世界的に重

要な農林水産業システムがあったためです。まさに、今まで大崎の人がずっと守ってきたことが認定理由だと言えます。私が幼い頃から遊んでいた小川や居久根も、実はそのシステムの一つだったことをその時初めて知りました。そして、これからは、私たちがこのことを深く知り、守っていく努力を継続しなければ、このすばらしい自然や環境の保全はできないだろうと思いました。

私は小学校の頃から現在まで「おおさき生きものクラブ」に所属しています。ラムサール条約に登録されている化女沼や蕪栗沼周辺の動植物について調査・観察することをはじめ、大崎のさまざまな自然や生きものに触れる活動を続けてきました。その中で、私は、美しい自然とは、何もしない状態で保たれるわけではなく、自然を守り続けるために「人の力」が必要不可欠なのだ、ということ学びました。

中学校の歴史の授業では、大崎に生まれた吉野作造が「政治の目的を一般民衆の幸福や利益に置き、その意向に沿って政策を決定することを主張する民本主義を唱えた」と教わりました。大崎に住む私たちは、自分たちの声を民意という形にして、すばらしい自然を守りながら、よりよい大崎をつくるのではないのでしょうか。私たちに、受身の姿勢ではなく、積極的に意見し行動することが求められると授業を通して思いました。

また、中学校三年生の国語の教科書には、「おくのほそ道」が載っています。

NPO法人古川学人「3つの作造<つく>る」 未来づくり 一次世代育成

す。作者の松尾芭蕉が、大崎市岩出山と鳴子を通ったこともよく知られています。『おくのほそ道』は、「松島を一目見たい」という自然美への憧れがきっかけで旅が始まり、その思いが芭蕉を江戸からこの地まで導いたそうです。

その松尾芭蕉は、「不易流行」という言葉を大切にしていたと知りました。守るべきことは残しつつ、新しいことを取り入れて発展させていく、という主旨だそうです。世界農業遺産やラムサール条約の認定を受け、国内有数の米どころとして知られる大崎の地にも、不易流行の考えは大変重要ではないかと私は思いました。

もともと大崎に住んでいた人には、歴史・文化などが幼い時から培われ、息づいてきたかと思えます。しかし、それを当たり前のことだと思わず、大崎在住の次世代や、新たに大崎に住む人たちへとつないでいくことが、「よりよい大崎をつくること」に結びつくのではないかと思います。地球温暖化の影響などで、自然環境はどんどん変化してきています。私は、大崎の今までの知識や技術、歴史や文化を継承しつつも、時世にあった新しい取り組みなどにも目を向けていくことが、私たちにできることだと思います。また、これからも自然の恩恵を大切にし、自然との共生を意識しつつ日々生活することも、私たちにできる大切なことだと思います。それが、これからの大崎の魅力発信にもつながると私は考えています。

大正デモクラシー賞 小学校の部 最優秀賞

「よりよい大崎をつくるために わたしたちにできること」

中新田小6年 瀬戸煌葉さん

よりよい大崎を作るため、私たちにできることは、大崎の偉人を勉強して、みんなに教えることです。

私は、次の三つの観点で吉野作造を尊敬しています。

① 民主主義を世の中に広めたこと
② 弱い人に寄り添ったこと
③ 向上心をもって学問に励んだこと

①の民主主義について書きます。私が話し合いで、物事を決めるときに大切にすることは、少数者の意見を大切にすることです。全員が納得したほうが話し合いが進めやすくなります。

私が、小学五年生の時にクラスで話し合いをしました。その時多くの意見が出て多数決で決めました。自分の意見が通らなかつた三人の友達が不満を口にしながら、掃除に参加してました。この時、少数意見を大事にしなかつたことをとても反省しています。

納得しない人がいる時は物事がうまく進まないこともあると分かりました。物事を決定するときには、全員が納得するというのが理想だと思います。

もし、話し合いをする機会がある場合、みんなが納得できるように工夫していきたいです。

今年、普通選挙法制定百周年ということを知りました。民主主義につい

てあまり知らないのです、これから民主主義を学んでいきたいです。

②の弱い人に寄り添ったことについて書きます。吉野作造は、貧しい人や、子育てをする余裕がない人に「養育会」という組織を立ち上げ、無料で相談し、寄り添いました。私はいじめられている人がいたら、寄り添ってあげたいと思っています。いじめられると、嫌な思いをします。私は、いじめられたことがあります。その時はとても嫌な気持ちで学校に行きたくないと思っていました。しかし、友達や先生のおかげでその後は、いじめもなくなり、前のように仲良くなれました。いじめによって、嫌な気持ちになり、不快になることもあります。私もいじめを経験して、いじめをなくすには、どうすればいいか今でも考えています。もし、いじめを見かけたら、いじめられている人に寄り添い、励ましてあげたいです。

③の向上心をもって学問に励むことについて書きます。吉野作造は、政治学を学び、大正デモクラシーの中心的役割を担いました。その結果、普通選挙法ができました。向上心を持つことは、困難にも挑戦する気持ちを持たせ、日々努力しようとする気持ちにさせてくれます。私は、公務員になりました。公務員になつて、人のために働きたいと思ったからです。私は、将来のために毎日勉強しています。公務員という夢に向かって、日々努力していきたいです。また、失敗しても、目標に向かって頑張っていけるように、

心を輝かせていきたいです。

私は、毎日五つの親切をしています。親切をすることが大事だということが先生たちの話し合いで決まり、今年から、「親切の日」という日が実施されました。「親切の日」は、毎月第三水曜日に親切を五つします。私はその日、ごみを拾ったり、先生にあいさつをしたり、友達に勉強を教えたりしました。この「親切の日」を毎月行うことで、習慣が付き学校ではない、地域の方々にも、あいさつなどをするようになりました。毎月行っていた五つの親切は、段々と毎日するようになりました。この習慣を今後も継続して行きたい、吉野作造のような親切な人になりたいです。

私は、吉野作造を尊敬しています。これからも、吉野作造のように、人の役に立てるように頑張りたいです。また、吉野作造のことを勉強して、みんなに教えていきたいと思えます。

※掲載にあたっては編集上の都合により一部修正を加えました。

● NPO 法人古川学人「3つの作造くつく」 **未来づくり 一次世代育成一** ●

11月1日～30日

第6回 おおさき芸術コンクール チャリティ展覧会

主催：NPO法人古川学人

大崎市の小・中・高校、支援学校のみなさんの作品で開くチャリティ展覧会。今回は絵画83点、写真10点の応募がありました。展覧会で集まった募金（3万円）は、特定非営利活動法人大崎タイムス福祉部に寄付されました。

※宮城県共同募金会「みやぎチャレンジプロジェクト」助成事業



絵画の部 最優秀賞(高校)
「The melting cherry blossoms」
二宮明莉さん(古川学園高3年)



絵画の部 最優秀賞(小学校)
「夏の思い出」
遊佐幸之助さん(古川第二小4年)



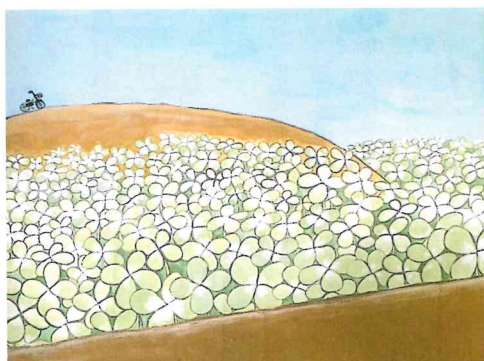
絵画の部 最優秀賞(中学校)
「地上の太陽」
佐野天凜さん(古川東中3年)



絵画の部 優秀賞(高校)
「沈殿街」
古川瑞姫さん(古川高2年)



絵画の部 優秀賞(中学校)
「鳴子の街並み」
庵原睦未さん(古川東中1年)



絵画の部 優秀賞(中学校)
「夢で見た景色」
木村美月さん(古川東中1年)



絵画の部 優秀賞(小学校)
「カマキリのちあーちゃん」
鈴木立志さん(古川第二小3年)

NPO法人古川学人「3つの作造くつくる」 未来づくり 一次世代育成



写真の部 最優秀賞
「おいしくなあれ！パパの米」
鈴木心結さん(古川第四小2年)



写真の部 最優秀賞
「お友達になろう！」
佐藤滯さん(古川第五小4年)



絵画の部 優秀賞(小学校)
「夢をのせて」
大友心結さん(敷玉小6年)



絵画の部 優秀賞(小学校)
「ずんだもち」
後藤明佳さん(古川第三小6年)

12月5日

第7回

吉野作造記念弁論大会

(第12回 宮城県高等学校弁論大会)

主催：宮城県高等学校文化連盟

共催：宮城県教育委員会

NPO法人古川学人

主管：宮城県高等学校文化連盟

弁論専門部

後援：大崎市教育委員会

河北新報社

大崎タイムス社



優秀賞

「今、未来と向き合う」

高橋和夏さん(古川高1年)

優良賞

「助ける」から、共に楽しむ世界へ」

井阪可歩さん(仙台大志高2年)

その他発表者

「『当たり前』に目を向けて」

高橋千惺さん(築館高2年)

「かさなり」を見つけるために」

高橋柁生さん(加美農業高1年)

「身近な『自分らしさ』を大切に」

熊谷鈴乃さん(尚綱学院高2年)

「デンマークで見つけた、

幸せに生きる五つのヒント」

竹中こころさん(尚綱学院高2年)

「『頑張り方』は一つじゃない」

高橋柚衣子さん(古川黎明高2年)

「大きな世界へ」

中島夏芽さん(気仙沼高2年)

「自由の使い方」

佐藤聡さん(古川学園高1年)

「夢ってもっと、自由でいい」

菅原桃子さん(築館高2年)

NPO法人古川学人「3つの作造くつくゝる」 街づくり —市民社会育成—

第8回 おおさき社会貢献大賞

より良い社会を目指す若者の活動を顕彰する「おおさき社会貢献大賞」。2025年度は13団体・個人が表彰されました。



て取り組んだ自発性と行動力を高く評価し最優秀賞とします。

古川中学校3年 まちづくり学習

古川中学校3年 まちづくり学習

【講評】 東日本大震災以降、「志の高い子ども」の育成を目指し、平成25年度から「まちづくり学習」に取り組んできました。今回は、SDGs 17のゴールを達成するために、社会課題の解決を目的とした活動や地域行事への参加など、大崎市やまちづくり関係機関と連携をはかり取り組んだ内容。約9カ月間という期間のなかで取り組まれた社会を良くする多様な活動は最優秀賞として相応しく高く評価します。

吉野作造に関する探求活動

古川黎明高校3年 千葉トミエールさん

【講評】 小学6年生の授業で歴史に興味を持ち、「地域で有名な人物はいないか」と調べ、吉野博士を知ったことがきっかけとなり、研究や顕彰活動が始まりました。当館が主催する作文コンクールでは大正デモクラシー賞と最優秀賞を受賞した他、吉野作造検定では、上級試験に挑戦し、高校生

として初めての合格者となりました。千葉トミエールさんの吉野愛あふれる調査研究・普及啓発活動を高く評価し、最優秀賞とします。

優秀賞

獅子躍引継式

松山小学校

岩出山の魅力PR大作戦

岩出山中学校

「白金のいぶき」で地域の魅力発信&担い手育成

古川西小中学校

大崎市における同性パートナーシップ宣誓制度について

古川黎明高等学校SS探究Ⅲ 40班

外国人に選ばれる大崎市を目指して

古川黎明高等学校SS探究Ⅲ 8班

ナスンドケーキで大崎の農業を盛り上げたい

古川黎明高等学校SS探究Ⅲ 7班

奨励賞

ランドセルは海を越えて

古川中学校福祉委員会

読み聞かせボランティア

松山高等学校図書委員会

文房具バンクを広めよう

古川学園高等学校文房具バンクチーム

鹿商祭全校制作

「巨大モザイク壁画」
鹿島台商業高校

第7回

吉野作造フェロウシップ

社会の課題を見つけ、みずからアイデアで解決しようとする若者の活動を応援する事業。2025年度は2団体の企画が採用されました。

地域防災の担い手を育成する学習活動の試み

「地域防災に尽力している方々との交流を通して」
大崎市立古川西小中学校

ガクチカ食堂

学生団体ガクチカ 小澤玲苑さん



● NPO 法人古川学人「3つの作造くつくる」 街づくり —市民社会育成— ●

5月5日 GWイベント

協力：劇団どんちょうの会、東北イノアツク
宮城県在住の作家・佐々木ひとみ氏、野泉マヤ氏、堀米薫氏による人
気の児童書『みちのく妖怪ツアー』（新日本出版社）の朗読劇と、著者3
名によるトークショー。ほかに妖怪クイズラリー、スライム作り、恐竜
スポンジ作りなどのイベントを開催しました。
※宮城県共同募金会「みやぎチャレンジプロジェクト」助成事業



5月5日～18日

『みちのく妖怪ツアー』パネル展

協力：新日本出版社、仙台文学館（パネル貸与）
東京モノノケ氏作画による、『みちのく妖怪ツアー』に登場する妖怪の
等身パネルなどを展示しました。
※宮城県共同募金会「みやぎチャレンジプロジェクト」助成事業



学芸部トピックス



後期学芸体験講座



前期学芸体験講座

学芸体験講座 (前期・後期)

前期学芸体験講座「資料読解」資料で見る吉野作造とその時代（5月25日・6月29日）は、原資料を読み解きながら、吉野作造や関係する人物・団体について考える内容です。2025年度は、小松清旧蔵明治文化研究会関係資料などを題材に、明治文化研究会や吉野の家族について考える内容でした。

後期は、大崎市に残る貴重な文書資料の読解を通して、地域の歴史や史料への理解を深める内容です。2025年度は、大崎市にあった老舗書店・佐々栄文盛堂の資料の整理作業（資料カード作成）を行いました。学芸員の指導のもと、資料名の名づけや年代の特定、状態の確認などに取り組みました。また、後期企画展「我が町おおさきの歴史・文化（第4回町の本屋さん）」に向けた資料の選定にも参加していただきました。

また昨年度に引き続き、「吉野博士記念例会記録」の読解・翻刻も行いました。成果物は「吉野作造研究」第22号（2026年4月発行）に掲載しています。

2月23日・25日

第9回 吉野作造検定

今年度は初級・中級・上級あわせて8名が受験し、3名が合格しました。



資料調査

- ・米城家（6月17日、9月12日）
- ・大崎市教育委員会 古川出土文化財管理センター（7月3日、2月18日）
- ・富谷市教育委員会 富谷市民俗ギャラリー（6月18日）

研修等への参加

- ・令和7年度認証アーキビストセミナー（オンライン、2月7日）
- 参加者：小嶋翔、佐藤弘幸

実習等の受け入れ

- ・中堅教諭等資質向上研修（8月6日、古川第一小学校地村怜美先生）
- ・博物館実習（9月9日～13日）

研究発表・執筆活動

論文等

- ・佐藤弘幸「菅原伝書簡と古川停車場位置問題―大崎市教育委員会蔵「橋平文書」より」（『吉野作造研究』第22号、2026年4月）

- ・おおさき文化研究会（吉野作造記念館市民学芸員各位・氏家仁・小嶋翔・佐藤弘幸）「吉野博士記念例会記録（第6～9回―1953～56年）」（同）
- ・小嶋翔（「研究ノート」指定管理者制度導入施設における文書管理と情報公開―吉野作造記念館／NPO法人古川学人の取り組み事例―）（同）

- ・佐藤弘幸「地域との歩みのなかで②吉野作造記念館の文書資料」（東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究所部門ニューズレター『史の杜』No.15、2026年2月）
- ・小嶋翔（「書評」武藤秀太郎著『福田徳三と大正デモクラシー』）（『新潟日報』2026年3月29日、「にいがたの一冊」欄）

- ・小嶋翔、「大正期の社会思想と文芸思想を再考する―霊性・身体・デモクラシー」、岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科日本文化論分野「日本思想史・文化史特別セミナー」（於岡山大学、9月24日～26日）

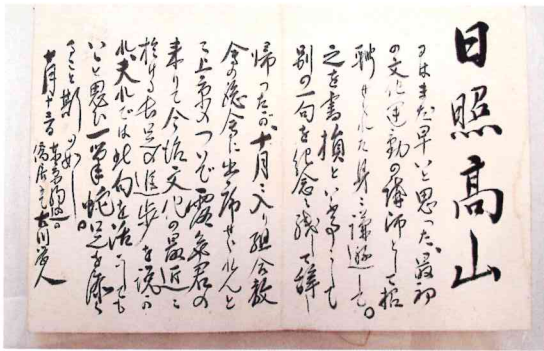
学芸部トピックス

新収蔵資料紹介

大正十年愛媛夏季大学

講師寄せ書き 購入

1921年(大正10)8月1日、愛媛県今治市で開催された夏季大学で講師をつとめた人々の記念の揮毫を、折本に製本した。吉野作造も講師の一人で、「日照高山」「日照幽谷」と題した2枚の書を寄せています。最初は謙遜から「日照幽谷」と書いたが、東京に帰った後で「今治文化の最近に於ける長足の進歩」を伝え聞き、改めて「日照高山」と書いたとしています。なお他に5名の講師と、関連不明の書9名分が同装されています。



吉野屋の屋号が入った木鉢

瀬戸勝枝氏 寄贈

裏側に吉野作造の生家・吉野屋の屋号「山吉」が入った木鉢。所蔵していた鈴木家の伝来によると、作造、または弟信次の大学入学祝の際、この鉢にちらし寿司を入れて持ってきたとのこと。



吉野作造蔵書印入りの書籍

菅原一也氏 寄贈

吉野の蔵書印が押印された書籍『政体新論』(黒田行元著、1874年)。吉野の後、『明治文化研究』にも寄稿していた教育学者の海後宗臣の手に渡ったとみられます。

謹んで御礼申し上げます。

寄贈資料一覧 (2025年4月~2026年3月)

- ・黒田行元『政体新論』.....菅原 一也氏
- ・銭听怡『近代日本思想史研究』.....銭 听怡氏
- ・荒武賢一朗・岩出山古文書を読む会(編)『吾妻家文書を読む 第一集-岩出山伊達家の組織-』.....荒武賢一朗氏
- ・荒武賢一朗・岩出山古文書を読む会(編)『吾妻家文書を読む 第一集-岩出山伊達家の組織-』.....岩出山古文書を読む会
- ・荒武賢一朗・岩出山古文書を読む会(編)『吾妻家文書を読む 第二集-近世武士の由緒と戊辰戦争-』.....岩出山古文書を読む会
- ・菅井理恵(文)、穴戸清孝(写真)『蒼空の月』.....NPO 法人古川学人
- ・石巻市博物館(編)『石巻市博物館 常設展示図録』.....石巻市博物館
- ・手嶋泰伸『加藤友三郎』.....手嶋 泰伸氏
- ・鹿島台歴史研究会(編)『鹿島台にも空襲がやってきた(第二版)』.....鈴木光太郎氏
- ・井本三夫(編)『米騒動・大戦後デモクラシー百周年論集総集編』.....金野 文彦氏
- ・伊藤貴雄編著『新カント派の哲学と近代日本-受容と展開』.....杉田 孝夫氏
- ・清水正巳『清水式呉服店繁昌策』.....瀬戸 勝枝氏
- ・荒武賢一朗・野本禎司(編)『仙台湾の組織と政策』.....荒武賢一朗氏
- ・大東文化大学百年史編纂委員会(編)『大東文化大学百年史 中』.....大東文化大学百年史編纂委員会
- ・小正路淑泰『田原次と堺利彦農民労働学校』.....金野 文彦氏
- ・内務省研究会(編)『内務省-近代日本に君臨した巨大官庁-』.....清水唯一朗氏
- ・加藤諭・手嶋泰伸・小幡圭祐『日本における総合大学制の成立過程と東北大学』.....加藤 諭氏
- ・二郷成子『民本主義をとらえた吉野作造 吉野作造が生涯貫いた政治学という学問について』.....二郷 成子氏
- ・佐々木ひとみ・野泉マヤ・堀米薫(作)、東京モノケ(画)『みちのく妖怪ツアー プレミアムミュージアム編』.....野泉 マヤ氏
- ・井上琢智『黎明期日本の社会学者とキリスト教-福田徳三と吉野作造』.....井上 琢智氏
- ・『会報』第163号、第164号.....東京大学学生キリスト教青年会
- ・『我観』第1号、第4号.....金野 文彦氏
- ・『初期社会主義研究』第33号.....後藤 彰信氏
- ・『新人』第12巻第4号.....二郷 成子氏
- ・『中央公論』第140巻第1号.....小川原正道氏
- ・『東方時論』第4巻第11号、第5巻第2号、同第3号、第7巻第2号、同第8号、第8巻第4号.....金野 文彦氏
- ・『吉野作造通信』第26号、27号.....永澤 汪恭氏
- ・井上恒『井上さし著作目録 第四編 放送関係ほか』.....井上 恒氏
- ・『国家学会名誉職員及会員一覧表』.....菅原 一也氏
- ・宮城師範学校編『小学習字帖』巻二、巻三、巻四.....菅原 一也氏
- ・作家6名寄せ書き(鈴木林平あて、鳴子巡遊記念、1933年8月か).....瀬戸 勝枝氏
- ・鈴木文治書『一苦一楽相磨練 練極成福(『菜根譚』)』.....瀬戸 勝枝氏
- ・木鉢(屋号「山吉」入り).....瀬戸 勝枝氏

見学・出前講座などのご感想

巡回パネル展 古川北小学校6年生

○吉野作造の展示を見学して、大正デモクラシーの時代を生き、作造のえいきょうを受けた若者たちが中心となって、民主主義の国である、今の日本をつくったことや、国や立場がちがっていてもおたがいを理解しあおうと努力することが大切だと考えていたことなど、他には、自分たちのことは自分たちで決めようと、みんなが声をあげ、その声が政治を動かしたことなど色々なことが知れました。他にも吉野作造記念館には、作造が愛用した道具、原稿、手紙、書いた本、写真がいっぱいあることを知って見てみたいと思いました。吉野作造のことが色々知れて勉強になりました。

○吉野作造さんの展示を見学して学んだことがつありました。その学んだことは最後まで前向きにがんばろうということです。1923年（大正12年）に關東大震災が起きてからは作造さんにとってもつらい日々で、大学や新聞社の仕事を失ったり、無理がたたって体をこわしたりしてしまいました。ですが作造さんは最後まで前向きに仕事をがんばりました。このことをきっかけにぼくはたとえ大事な物を失ってしまったり損をしてしまってもあきらめないで最後までがんばろう、という気持ちを教えてもらいました。

○吉野作造は細川松三郎先生が教えてくれたことをいかして、朝鮮の人びとなどと交流をしたり、ほかの人にも優しく接して、とても先生や仲間思いな人だと思いました。作造が高校生のときに、ブゼル先生から教わった、人のために尽くす心、そして勉強のなまかたちとの

友情を教わり、作造はブゼル先生に感謝していたと思います。そして大学生になった作造は、政治学というのを学ぶようになり、細川先生も、ブゼル先生も、作造のことをとても感心していたと思いました。中には作造のえいきょうを受けた若者たちが中心となって、民主主義の国である今の日本をつくったと私は知っています。作造は若者たちにえいきょうを与えていて、その作造は若者たちにすばらしい言葉をかけていたと思います。そんな作造のことを私はそんけいをして、自分のしょうらいを考えようと思えるようになりました。

巡回パネル展 岩出山小学校6年生

○吉野作造は、1878年大崎市古川十日町で生まれました。吉野家は、糸や綿、反物を売っていました。今では、糸や綿を売ってもあまりお金にならないのです。いいと思います。他にも自分たちのことは自分たちで決めようと、みんなが声をあげてその声が政治を動かしたなんてすごいと思います。

○私がパネル展で知ったことは、「普通選挙」の実現を強く願ったことです。お金や身分に関係なく、「みんなの声が政治にとどく」と考え、多くの人々の運動につながり、のちに普通選挙が実現する大きな力となったことがいいなと思いました。

○ケロッキーパーの本が作造が何をしたのか分かりやすかった。だれでも参加できる選挙を作ったことが分かった。12人姉弟の3人目だということが分かった。

巡回パネル展（絵本） 下伊場野小学校

○ケロッキーパーとおおきなあなを読んだ、わたしはみんなが仲良くなるためには、みんなで相談するのが大事だと分かりました。ケロロとウッキーパーが、仲良くなってよかったです。

○ケロッキーパーとおおきなあなを読んだ思ったことは、ちがう意見がひつようだということです。みんなでいろいろなことを考えることが大事だと思いました。話のさい後にはみんながなかくよくなつてよかったです。

1月15日 まちたんけん 古川第二小学校2年生

○今日は、見学をさせてくれてありがとうございました。わたしが1ばんたのしかったことは、とうひょうしたのがたのしかったです。わたしは、ケロロにとうひょうしました。するとケロロが1ばん多くてうれしかったです。あとケロッキーパーのどう画を見たのたのしかったです。いろいろなことを、まなんだのしかったです。またきます。

○おげんきですか？わたしたちが「町たんけん」に行ったときお話をきかせてくれて、ありがとうございます。お話とてもおもしろかったです。よしのさくぞうさんのことを、おしえてくれてありがとうございます。おげんきようになりました。またおあきさんときます。

2026(令和8)年度の主な行事予定

4/11、5/9、6/13、	
7/11、9/12	館長講座「吉野作造の文章を読んでみよう（前期）」（全5回）
5/3	憲法記念日講演会 講師：西土彰一郎氏（東北大学大学院法学研究科教授）
5/5	GW イベント「うたとピアノの楽しいコンサート」
5/30、6/28	学芸体験講座（前期）「資料読解～資料で見る吉野作造とその時代」（全2回）
7/27～9/21	前期企画展「町長でみる古川史（仮）」
9/4～9/6	第19回吉野ネットワーク交流事業
10/10、11/14、12/12、	
1/9、2/13	館長講座「吉野作造の文章を読んでみよう（後期）」（全5回）
1/30・31	吉野作造生誕記念イベント・高校生政策提言発表会
1/25～3/22	後期企画展（内容未定）

※上記の予定は変更となる場合がございます。最新の情報は随時ウェブサイト等でお知らせします。

ご寄附の御礼

● NPO 法人古川学人にご寄附いただいたみなさま (2025年4月1日～2026年3月31日)

小口 晃平 様	後藤 昇 様	會田 征子 様	平野 兵悦 様
Avain 様	(株)NAV 様	(有)古川保険センター 様	高橋 利昭 様
横山 寛勝 様	佐々木欣也 様	高橋 一浩 様	宮崎 継雄 様
平野 博 様	黒田 英雄 様	永澤 汪恭 様	松田 茂 様
吉村 敏之 様	二郷 成子 様	諸岡 敏裕 様	諸岡 則子 様
吉田 清子 様	秋山 真一 様	伊藤 淳子 様	安間 正夫 様
長尾 資 様	金井 敏行 様	辻 芳男 様	松田 美宏 様
伊藤千恵子 様	森田 純一 様	佐々木紳悟 様	清水 親志 様

氏名非公表ご希望 14件 (14個人)

合計 372,000円



大崎市役所前

● 宮城県共同募金会「みやぎチャレンジプロジェクト」にご寄附いただいたみなさま (2025年12月1日～2026年2月28日)

団体	旅館 青葉荘 様	カケチ電器商会 様	同和警備(株) 様	(株)昭和タクシー 様
	(有)スペースストライ 様	(株)ヤマデン 代表取締役 山田 元気 様		
	ニューデジタルケーブル (株)大崎ケーブルテレビ 様			
個人	猪木 武徳 様	清水唯一朗 様	祇園寺則夫 様	武藤秀太郎 様
	氏家 仁 様	佐藤 廣善 様	太田 哲男 様	加藤シゲ子 様
	大高 誠子 様	河野 康子 様	平野 博 様	川名 正紀 様
	阿部 亨 様	辻 芳男 様	佐々木公明 様	佐々木隼相 様
	佐々木 威 様	横山 寛勝 様	高橋 利昭 様	千島 優子 様
	二郷 成子 様	樋野 慶久 様	高橋 静江 様	布田 剛 様
	辻山 智信 様	花釜 幾雄 様	佐藤 仁美 様	

合計 394,160円

● ボランティア協力をいただいたみなさま

入屋 末義 様		高橋 憲夫 様
古川黎明高等学校	安倍 友香 様	岡部あんじ 様
	伊藤 愛莉 様	三浦 咲心 様

吉野作造記念館 利用案内

開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	
	入館料/常設展	入館料/企画展
一般	330円 (260円)	500円 (400円)
高校生	220円 (160円)	300円 (200円)
小・中学生	110円 (80円)	200円 (100円)
※ () 内は20名以上の団体料金		
休館日	月曜日 (祝日の場合は翌日)、年末年始 (12月29日～1月3日)、臨時休館日	

吉野作造記念館だより 第34号

2026年4月1日発行

編集・発行 吉野作造記念館
 特定非営利活動法人古川学人
 〒989-6105 宮城県大崎市古川福沼1-2-3
 Tel 0229-23-7100 Fax 0229-23-4979
 Mail yoshino-npo.fg@blue.ocn.ne.jp
<https://www.yoshinosakuzou.info/>

令和7年度 YOSHINOサポーター

(株)氏家建築設計事務所 (株)佐藤酸素 (福) 賛育会 (株)美研 (株)村田工務所 古川信用組合 内藤印刷(有)
 (株)北都開発 我妻建設(株) (株)チバミン (有)若見自動車整備工場
 (有)三塚タイヤ (一社)みやぎ大崎観光公社 (株)池月道の駅 アグロ宮城(株) (有)千田清掃 (有)古川機工設備
 管公(株) (株)ガーデンシティ (株)ヤマデン (株)リフレッシュかむろ 両国ゼミナール